

外国語（英語）
【解答例】

問1

- (1) 社会学者は、我々が意図した行動の目的と、その行動がもたらす意図せざる結果とを区別することを重視する。我々が取り組むことの目的は、その取り組みが生み出す結果とは大いに異なるものである。我々は、このように考えることで、社会の様々な局面を理解することができる。例えば、学校は読んだり書いたりするスキルを教え、子どもたちに新しい知識を与える目的で作られている。しかし学校という存在は、明確に認識されていたり、意図されている以外の結果を伴っている。学校は、子どもたちが一定の年齢になるまで労働市場から子どもを除外している。そうした教育システムには、生徒たちの学業上の能力によって生徒を異なった職業に水路づけ、社会の不平等を強化する傾向もある。
- (2) 社会生活の継続性と変化のどちらも、人々の行為の意図した結果と意図せざる結果との「ミックス」という観点から理解されるべきである。社会学は、社会的再生産と社会変容のバランスがどのようにつくのかを検証する役割を持っている。社会的再生産とは、いかにして社会は時とともに「動き続ける」かを指し、社会変容とは、社会が経験している変化を指す。社会は、時計やエンジンのように、その内部に組み込まれ、一定の動きをもたらす力の推進力があるから「動き続ける」機械ではない。社会的再生産は、人々が毎日毎日、毎年毎年行うことや、かれらが従う社会的慣習に継続性があるので、可能になっている。変化が起きるのは、人々がそれを意図した結果であることもあれば、例えばロシア革命のように、誰も予見せず、意図もしなかった結果であることもある。

問2

人々は日常生活において、自分の生活で体験する内容の全体像を一つにまとめるフレームのなかでどのように行動をするかを決めており、Frames guide action（フレームが行動を導く）とは、同じフレームを共有している人たちを戸惑わせないように、人々は一参加者として、そのフレームのなかで自分に期待されている役割を演じることを意味している。

例えば、親しい友人や家族の葬儀や通夜で説教をしたり弔辞を述べたりする司祭が、故人に対して持つ自分の感情を隠し、説教や弔辞を述べる時には素の感情を表出させずに、少なくとも非常にプロフェッショナルに葬儀参加者からから見られるように行動することなどは、葬儀の場というフレームによって、司祭の行動が導かれた例である。